—緊急広告特集—　**がんばれ! ニッポンの医療**

IT利用し、社会変革

医療関係者への 応援メッセージ

「医療関係者の皆様が、新型コロナウイルスに負けずにがんばってくださっているおかげで、日本は他国よりも良い状態であると自分は思います。感謝しかありません」
神奈川県 20代・男性　会社

「最前線でがんばるあなたたち。わたしたちは、あなたたちがいるから安心できるのだ。あなたたちのがんばりが毎日のわたしたちを支えている」
東京都 30代・男性　会社員

「見えない恐怖と隣り合わせで、目の前の患者さんを助けたい一心でがんばっているあなた。もしも願いが叶うなら、準備していた金メダルを今すぐ、すべての医療従事者へ」
神奈川県 60代・男性　団体職員

「皆様の日々の真摯なご努力により、たくさんの命が救われています。心から、心からありがたく思っています。どうかご自身の健康にも気をつけて下さい」 神奈川県 70代・女性　無職

応援メッセージ募集中

下記の応募フォームから、応援メッセージ(100文字程度)、お名前、年齢、ご職業、お住まいの都道府県をご記入ください。いただいた応援メッセージの一部は、「がんばれ！ニッポンの医療」の紙面にてご紹介させていただきます。締め切りは9月30日(水)17時まで。

お申し込み先は
https://adnet.nikkei.co.jp/e/message2020/
日経アドネット 検索

企画・制作=日本経済新聞社イベント・企画ユニット

柔軟さが感染症には有効 「新しい近接性」の実現を

長崎大学熱帯医学研究所 教授　**山本 太郎氏**

新型コロナウイルスとの闘いは、なお時間がかかりそうです。今後、インフルエンザとの同時流行の懸念もあります。ただ、IT（情報技術）を活用して、ウィズコロナやポストコロナ時代の社会の在り方を模索する動きも急速に広がっています。我々も将来像を真剣に考える必要がありそうです。

急速なウイルスの拡大が強毒化につながるとしたら、流行の速度を穏やかにすることはウイルスを弱毒化する点で有効でしょう。その意味で外出の自粛など、新型コロナウイルスへの対応は成功していると思います。ただ、技術がないときであれば、一律に自粛するような行動制限が必要だったかもしれませんが、データがたまってくれば、状況は変わります。もっと細かく網をかけ、例えば週末の繁華街だけは自粛を要請するといった対応が必要ではないでしょうか。

もちろんIT（情報技術）はあくまで何かを達成するための道具です。ITによってどういう社会を作っていくのかというのは我々自身の課題です。今は人と離れることが重視されていますが、他人と距離を取るだけの社会というのは成り立たないと思っています。「新しい近接性」というものをつくっていかなくてはならないでしょう。それを実現するのにITを使えればいいと個人的に考えています。

新型コロナ対策の中で、ITを監視的に使う国家もあります。しかし新型コロナに限らず、パンデミック（世界的大流行）を引き起こすような病原体は常に巧妙で、社会の弱点を突いてきます。

次の感染症にも対処できる社会にするには監視を強めるよりもレジリエント（柔軟）な社会を作るほうが有効だと考えています。その実現のためにITを利用することが我々の課題なのだと思います。

新型コロナに関して、我々の目標は感染を抑えることではなく、人的、精神的被害を最小化することです。また新型コロナの経済的な影響によって亡くなったり、被害を受けたりする人も同等に支援するべきだと思います。その上で社会全体が新型コロナに対する免疫を持つということが我々の最終的に目指すところだと思っています。

持続可能な社会のためにみんなで考えよう　vol.11

COVID-19 RESPONSE

危機を変わる機会に

インフルとの同時流行に対策 「感染症対応シティ」実現へ

福岡市長　**高島 宗一郎氏**

まず、新型コロナウイルスの治療に最前線で従事されている医療関係者の皆様に心より敬意を表します。

福岡市では医療関係者の方への感謝の気持ちを形にするために「ありがとう基金」を設置しました。市民や事業者の皆様の暖かいお気持ちのおかげで、すでに1億円を超える寄付が集まり、医療分野への支援に使わせていただいています。

また、今後最も心配されるインフルエンザとの同時流行への対策としては、子どもや高齢者を対象としたインフルエンザの予防接種費用の助成を行うことにしました。こういった医療関係者の方への支援や医療現場の負担軽減をしっかりと行ってまいります。

世界は新型コロナウイルスで大きな打撃を受け、変化を余儀なくされていますが、これは社会が大きく変わるチャンスでもあります。

学校でのオンライン授業も一気に浸透しました。福岡市でも、子どもの学びをとめないように、市立の全学校へのタブレット端末の整備やクラウドを活用した学習動画配信サービスの開始などICT（情報通信技術）活用の取組みを進めています。

また都心部においては、規制緩和を用いてビルの建替えを誘導する「天神ビッグバン」などにより、多くのプロジェクトが進行中です。街が新しく生まれ変わる今こそ、世界に先駆け「感染症対応シティ」を実現するチャンスと捉え、ビルにおける感染症対策の取組みに対し、インセンティブ制度を創設するなど、新たなチャレンジを始めたところです。

「ピンチこそチャンス」とマインドセットを変え、この難局を乗り越えましょう。

医療現場からの 声

奈良県立医科大学感染症センター（奈良県橿原市）

正しい知識の啓発の場を増やし 感染症対策スキルを進化させる

奈良県の感染症入院患者受入医療施設は10カ所ほどあり、要入院患者が発生した場合、県の調整班が入院先を振り分けるシステムとなっている。

「その中でも、高齢者や基礎疾患を持つ重症化リスクの高い患者が振り分けられるケースが多いのが当センターです」と、笠原敬センター長。

「実際に入院患者の平均年齢は80歳前後です。まさに高齢者医療の現場という様相で、スタッフ一同より慎重な対応を心がけています」

笠原氏は現場の最前線に立つだけでなく、日本感染症教育研究会の学術アドバイザーとしても活動している。

「特に感染症予防に力を注いでおり、そのための研修会を行ったり、県内の医療施設や福祉施設で新型コロナウイルスが発生した場合は初動でクラスター(感染者集団)発生の防止に当たっています」

こうした経験を積みながら笠原氏が感じているのが、意見交換や正しい知識の啓発の場がもっと必要だということだ。

「この半年間の経験で国民のスキルも上がっています。さらに進化を続けながら、ウィズコロナの時代に対応していくことが大事です」

私たちはニッポンの 医療現場を応援します

We Find the Way 新日本通運 NIPPON EXPRESS / TACHIHI / 高砂熱学 / 産業タイムズ社 / The Specialist in Filtration YAMASHIN / TOMOWeL 共同印刷株式会社 / エアウォータ / Achilles / KAZEN / TKC / INTER CENTRAL / アイングループ / TEIJIN 帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社 / Allied Telesis / 第一生命 Dai-ichi Life Group / 第一フロンティア生命 / ネオファースト生命 / 株式会社竹虎 / 3M / 株式会社オギメディカル / SHIP HEALTHCARE / CO・OP共済 / メディキット株式会社 / 朝日土地建物 / 株式会社日医リース / PRINTING SOLUTION 佐川印刷株式会社 / Coloplast / 朝日インテック / CTC / KAITEKI Value for Tomorrow 三菱ケミカルホールディングス / 朝日生命 / 日清医療食品株式会社 / J-POWER / kaneka / 竹中のセンサ TAKEX

大日本住友製薬 / Claris / 興研株式会社 / 栄研化学株式会社 / 総合メディカルグループ / シゲマツ / アイホン / メディパル / TERUMO / alfresa / 漢方のツムラ / あんしん財団 / 小津産業株式会社 / 日本調剤 / SEIKO / 白元アース / サンワード貿易 / 須賀工業株式会社 / 東和薬品 / TSI HOLDINGS / 三谷産業株式会社 / KONICA MINOLTA / ワタキューセイモア / CSL Behring / BD / 佐鳥グループ / 製薬協 / リンタツ / 日本ペイントホールディングス / 日本テクノロジーソリューション / MRP / 日本管財株式会社 / 日経BP / NIKKEI

掲載各社のご協力により、本広告企画の収益の一部を国立国際医療研究センター、Gaviワクチンアライアンス、CEPI（感染症流行対策イノベーション連合）に寄付させていただきます。

本特集では随時、応援企業を募集しています。お問い合わせ先／ cm-event1@nex.nikkei.co.jp